

2019年度 安全報告書

ご挨拶

平素より宮島松大汽船をご利用いただき誠にありがとうございます。

当社は、宮島町と宮島口を結ぶ、一般旅客定期航路事業を営んでおり、島民の生活航路として、また、宮島観光に訪れる人々に対する交通手段として、高い公共性を有する海上運輸機関であります。

当社の経営方針は、お客様に安全で快適な船旅をお約束することにより、社業の発展に努め、社会に共通の利益を提供することにあります、なかでも「安全運航」の確保は、当社の公共交通機関としての第一の使命であり、最大のサービスであります。

このサービスを継続するため、以下の「安全方針」を策定し、これを「経営トップのリーダーシップ」の下で全社員一丸となって徹底して実行することにより、輸送の安全を確保いたします。

さらに、この安全管理体制を十分機能させるため、経営トップを中心に安全推進委員会を年3回実施しており、安全上の監視を怠らず、必要に応じて問題点の把握・分析を行い、改善策を的確・迅速に実行し、全社員1人1人に安全意識を浸透させることにより、揺るぎない安全を構築してまいります。

これからも当社をご利用いただきますようお願いいたします。

2019年4月

宮島松大汽船株式会社

代表取締役社長 倉本 照明

安全方針

1. 安全は輸送義務の最大の使命である。
 2. 安全の確保は、規定の理解と遵守、執務の厳正から始まり、不断の修練によって築きあげられる。
 3. 確認の励行と連絡の徹底は、安全確保に最も大切である。
 4. 安全の確保のためには、職責をこえて一致協力がなければならない。
 5. 疑わしいときは、順序や方法など手順を十分考えて、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
-

2019年度 安全重点施策

1. 目標

- (1)「安全方針」により全社員1人1人が「海難事故ゼロ」を目指します。
- (2) 経営管理部門と乗組員及び陸上員の安全意識の向上に努めます。
- (3) 関係法令及び安全管理規程の遵守に努めます。

2. 施策

- (1) 安全運航に関する教育、研修の場として、安全推進委員会を年3回実施します。
 - (2) 総合訓練を年1回実施します。
 - (3) 経営管理部門と乗組員との面談を実施し、コミュニケーションの確保に努めると共に安全方針について理解度、浸透度の把握を行います。
 - (4)宮島口港湾整備に関して安全確保に努めます。
-

2018年度 安全重点施策の結果報告

1. 海難事故0件
 2. 経営管理部門と乗組員による、安全推進委員会を年3回実施
(1) 実施日
2018年4月20日出席人員23名
2018年7月23日出席人員22名
2018年12月21日出席人員22名
 3. 総合訓練の実施(2018年7月13日 出席人員36名)
 4. 経営管理部門と乗組員の面談を実施(2018年5月11日～6月4日 出席人員26名)
 5. AED講習の実施(2018年6月26、27、28日 3回開催 出席人員61名)
 6. 接遇研修の実施(2019年1月28、29、30、31日 4回開催 出席人員76名)
-

2018年度 運輸安全マネジメントレビュー会議の結果報告

運輸安全マネジメントレビュー会議(2019年4月5日)を実施し、2018年度安全重点施策を見直し、2019年度の安全重点施策の年間計画を作成した。

計画内容

1. 安全推進委員会を年3回実施。(4月、7月、12月)
安全運航に関する教育、研修を実施
経営管理部門より乗組員への情報伝達ならびに意見交換の実施
2. 総合訓練の実施(7月)
3. 経営管理部門と乗組員との面談の実施(5月～6月)
4. 経営管理部門による訪船を年3回実施(4月、7月、12月)

5. AED講習(6月)及び接客研修(2月)の実施

改善報告2019年度(2018年4月1日～2019年3月31日)

1. お客様の声

汽船「安芸」のバリアフリー客席は西日が当って眩しい、カーテンかスクリーンを取り付けていただけないか。(2017.9)

バリアフリー客席にロールカーテンを取り付けました。(2018.6)

汽船「宮島」「厳島」のトイレは和式なので洋式にならないか。(2018.2)

トイレを洋式に改善しました。(「宮島」2019.1、「厳島」2019.2)

2. 安全推進委員会の意見(改善)

宮島口カーフェリー棧橋の側面に防舷材を増設してほしい。(2018.4)

増設しました。(2018.7完了)

防舷材の隙間を無くしてほしい、またゲート受け敷鉄板が浮いて段差があるので修繕をお願いする。(2018.7)

防舷材の隙間は改善済み。(2018.10)

ランプゲート受け敷鉄板は2019年度工事予定。